

# 古文書を読む会学習記録

作成日 平成26年6月26日

<b>開催日</b>	平成26年 6月26日	<b>時 間</b>	10:00～12:00
<b>場 所</b>	金沢公会堂	<b>出席人数</b>	12名
<b>講 師</b>	真田雅行氏	<b>作成者</b>	深澤勝美
<b>テーマ</b>	第一学習 江戸時代の絵嶋生島事件㊦		
<b>概 要</b>	<p>絵嶋江戸を出立、信州高遠へ向かい、配流先での生活が始まる。</p> <p>「定め」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 道中 休泊において 火災 地震などの急変があった時は乗り物に鍵をかけ組の者 小頭等が世話する事。</li> <li>1 道中何れによらず 高声 小唄 話等 また酒等つつしみ、不作法なき様かたく守る事。</li> </ul> <p>「覚え」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 駕籠二挺 本馬二疋 軽尻(軽い手荷物と旅人が乗る馬)五疋</li> <li>1 江戸を出立 甲州街道を通り信州高遠まで六日の予定で行くこと。</li> <li>1 絵嶋出立時 水道橋より四谷を通る。松原四郎兵衛組の者五人、 乗り物徒士二人 脇に立、 跡組の者三人、 挟箱下女二人、 駕籠 箱提灯三張、 荷物は前日下屋敷まで届け世話役をつける。</li> <li>1 三月二十六日江戸出立、 要人(かなめ)・図書(ずしよ)に出立の報告をする</li> <li>1 小仏関所手形二通を箱に入れ 油紙に包み渡す。</li> <li>1 正徳十四年(1714)四月一日絵嶋無事信州高遠に着く。当月の用番(老中)及び 先月の用番に無事到着を知らせる。</li> <li>1 御用番阿部豊後守より内藤駿河守(高遠藩主)四月死去により 居所の地ならしなどの普請が遅れていることを知らされる。</li> <li>1 領分内非而村(非時村)に居住することになり七月十一日引っ越したと使者より告げられる。(在居六年)</li> <li>1 絵嶋の居所「非時村」は寒国の上 山方につき冬は寒く壁等も破損、 家来なども修復出来ず難儀しているので、城下近くに居所を移してほしいと願いでた。城下より遠く雪国の山中では大変なので城下近くに転居してもよいという幕府からの回答が内藤 伊賀守(内藤駿河守死去により相続)の家来より知らせがあった。以後「花畑」に移る(在居二十三年)</li> <li>1 享保五年(1720)大目付横田備中守より、預かり中の絵嶋の状況照会に対し、「存命にて恙なく過ごしている」旨伊賀守より回答。 (絵嶋死去は寛保二年(1741))。</li> </ul>		
<b>次回予定</b>	平成26年7月10日 10:00～12:00	於:金沢公会堂3号室 第一学習 宿村布川家文書㊦	